

令和8年度 新居浜市立図書館協議会 会議録

- 1 日 時：令和8年2月24日（火）15時30分から16時10分
- 2 場 所：新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール
- 3 出席委員：明星会長、鴉副会長、曾田委員、脇委員、坂本委員、福田委員、高橋委員
7名過半数
- 4 欠席委員：池本委員、續木委員、土岐委員、吉村委員、岡田委員 5名
- 5 事務局：近藤館長、久葉副館長、川上副館長
- 6 傍聴者：0名

7 会議概要

《次第1 開会》

(会長)あいさつ

自己紹介

《次第2 令和7年度事業報告について》

令和7年度事業報告について

(久葉副館長) 行事等について、別紙資料（P1～P5）により説明

(川上副館長) 図書館施設整備事業の修繕について、別紙資料（P6）により説明

質疑応答なし

《次第3 図書館運営について》

(1) 令和8年度の事業実施について

(久葉副館長) 別紙資料（P7）により説明

(2) 図書館施設整備事業について

(川上副館長) 別紙資料（P6）により説明

質疑応答なし

(3) その他

(会長) 情報交換などはないか

(久葉副館長) 本日欠席の岡田委員より意見をいただいたので、代読する。

以下岡田委員コメント

(岡田委員) 新設のリーディングスペースと親子コミュニティルーム、良い取り組みだと思う。館内掲示やホームページなどでわかりやすく表示していただきたい。

高瀬隼子氏トークイベントに参加したが、巧みな展開で充実した時間となった。また高瀬さんのメッセージが市政だよりも掲載されていて、地元出身作家として、より新居浜とかかわって欲しいと感じた。再びのトークイベントを切望する。

(会長) 情報提供させていただく。愛媛県教育研究協議会という組織があり、学校図書館委員会の委

員長をしている。その関係でいろいろなイベント等に今年度は参加させていただいたので、報告をする。今年は愛媛県は当たり年でもあった。

8月近江八幡で行われた学校図書館近畿大会も出席した。

10月全国図書館大会愛媛大会があった。その中で児童青少年の読書活動支援という部会を担当した。

11月愛教研の四国大会が伊予市であり、担当した。『デブ猫ちゃん』の作者早見和真さんの講演もあった。

複数の大会で感じたことは、幼児期からの家庭での読み聞かせが子どもの感性を育てたり、ひいては学力につながるという傾向がある。紙媒体の本が下火になってきたのは確かであるが、紙の本の良さがいわゆる揺り戻しの傾向にあり、見直されている。だから図書館の役割はこれから大きくなっていくのではないかと考えている。

近江八幡では作家の宮島未奈さん、伊予市では作家の早見和真さんの講演があり、図書館では作家の高瀬隼子さんの講演があった。作家のお話を対面で聞くというのは、良い刺激になった。

(近藤館長) 高瀬さんの講演の準備の時期に、工業高校の生徒さんのインターンシップ時期が重なり、会場の準備をしたり、紙の造花を作ったり、椅子を並べたり協力していただいた。図書館サポーターさんにも、ワークショップのための準備をしていただいて、非常に助かった。

(会長) また図書館を通じて情報共有していただければと思う。長時間にわたりご協議会の会議に協力くださり感謝する。副会長に閉会の挨拶をお願いする。

(副会長) 先ほど会長のアナログへの揺り戻しのお話があったが、書道を習っている人の話でリモートと対面では上達が違うという話を聞いた。ITもすばらしいし、電子書籍も便利だが、図書館でみんなが集い、触れる場所があるというのは、大事なことだ。入口付近の展示も興味深く見ている。中高生も今は勉強のためだけに来ているかもしれないが、こういった図書館活動の種まきから将来の図書館利用につながると思う。いろんな立場の人が集まってご意見が聞けるこのような会も大切なことだと思う。